

～うきはの“地の利”、“人の利”、“時の利”を伝える～

第 564 号

「うきはブランド通信」

U B C ~ukiha brand communication~



令和 2 年 7 月 26 日  
福岡県うきは市



(報道各社への取材の御案内)

“フルーツ王国うきは”のランドマーク「道の駅うきは」

梨の1番手は、甘さが売りの

“愛甘水”と“幸水”

九州じゃらん7月号の「道の駅ランキング2020」の総合ランキングで2016年から5年連続1位に輝いた「道の駅うきは」では、夏のフルーツの品種リレーとして、5月下旬から桃の出荷がはじまり、6月からは、ぶどうも続き、彩りを増している。

そのようななか、梨の一番手として甘味が多い「愛甘水(あいかんすい)」と「幸水(こうすい)」の出荷もはじまり、桃、ぶどう、梨という「夏のフルーツ主力3品種」でにぎわっている。さらに、売り場にはブルーベリーとイチジクも並び、彩りを増している



今年オープン20周年目の道の駅うきはでは、売上も昨年度10億1千万円超と初めて大台10億円も超えたなかで、梨は51,000千円の売上を誇る。

市内で栽培される梨の品種は確認されているだけで11種類で、11月まで収穫が続く。



●問い合わせ 道の駅うきは TEL0943-74-3939

※FAX を手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信  
2020.7.26 発表/第564号. 梨の1番手は甘さが売りの“愛甘水”と“幸水”、道の駅うきはで出荷はじまる